

ちばよ

備えの種をまこう。

2025

秋
No.20



CONTENTS

収入保険特集
はたらぐ女性 紹介

特集

農業経営 収入保険

全ての農作物を対象に収入減少を補償する制度です。
収入保険の加入者の声をご紹介します。

市原市
海上



あん どう みのる
安藤 実 さん(74歳)

【経営規模】イチゴ・キュウリ・トマト(ハウス60a)

もしもの備えの収入保険

市原市海上地区うながみ

チゴを栽培する安藤実さん。収入保険には令和3年から加入しています。以前から制度は知っていましたが職員から詳しい説明を受けて加入を決めました。加入の決め手となつたのは自ら生産した作物の販売金額を補償してくれるという今までの共済制度ではカバーしきれていたかったところ。補償になる金額も青色申告決算書を元にしていてわかりやすく良かつたと言います。

令和5年と6年には夏場の高温による影響でトマトとキュウリが枯れてしまい例年より収穫量が大きく減少してしま

ました。

収入保険は今までのような損害評価もなく、青色申告書を提出してから保険金の支払いまでも職員がサポートしてくれる為スマートで面倒な手間もありませんでした。

自分では防ぎきれない価格の下落や新型コロナウイルスなどによる影響、近年の異常気象等様々にリスクに対応している収入保険は農業を継続していくための安心の備えですと安藤さんは話してくれました。





匝瑳市
八日市場



芝山町
岩山

しい な ひろし
椎名 寛さん (63歳)

経営規模 トマト(ハウス4棟36アール)

災害への備えと栽培環境開拓の足がかりに

「近年の猛暑や豪雨、勢力の強い台風などの気象条件、病害虫など農業者の努力だけでは防げない場合が増えてきたのも、収入保険に加入した決め手です」と寛さん。加入前から収入保険制度については聞いていたが、普段関わりのあるトマトやイチゴ農家が加入していたこと、県や市からの助成金があつたことなども重なり、令和6年から加入しました。

することにも対応できる収入保険は魅力のひとつです。

令和6年はタバココナジラミによる黄化葉巻が発生したことや、猛暑による暑さの影響で花落ちするなどで収量が大きく減少しました。野菜価格安定制度では価格の低下時には対応できるが、収穫量自体が減少

以前から土壤や風通しか悪いのを懸念していたが、抑制トマトの収量の安定を見越して、今まで栽培していたハウスのうち1棟を立地条件の良い場所へ移設。「風通しや土壤の質が良いことで出来るトマトも品質が良くなる。栽培する環境や病害虫への対策、作業効率も良くなる」と寛さん。ハウスを移設したのも収入保険に加入してい るため踏み切ることが出来、また今回の移設を機に収入の上昇を図つていきたいと話してくれました。

農業を始めるようになつてから15年経ちますが、特にここ数年は異常気象による自然災害（台風や豪雨）に加え病害虫の大量発生にも悩まされながら現状を理解し、創意工夫を重ね日々農業に取り組んでいます。しかしながら自然を相手にする仕事はなかなか思い通りに行かないのが現実です。

収入保険に加入する前は水稻共済・園芸施設共済の内作物に加入し収穫量の減収時に備え、野菜価格安定制度では出荷物の価格低下時に備えて加入していましたが、収入保険制度の説明を受け「現在の異常気象に備えるなら収入保険だ」と思い家族で相

談しました。

収入保険制度であればスイカの天候不良による着果不良、トマトの病害虫による生育不良、秋冬人参の播種時期の豪雨による発芽不良などによる収穫量の減収のほかにも販賣価格低下による収入の減少はもちろん、家族経営なので怪我や病気によつて計画通りに営農出来ず収入が低下するなど、様々なリスクに対応しているので、これらの農業経営には必要な制度だと思い5年前から収入保険へ移行しました。

加入後は気持ちに余裕ができ安心して仕事に取り組むことが出来るようになりました。

近年の異常気象災害の備えに収入保険を

談しました。

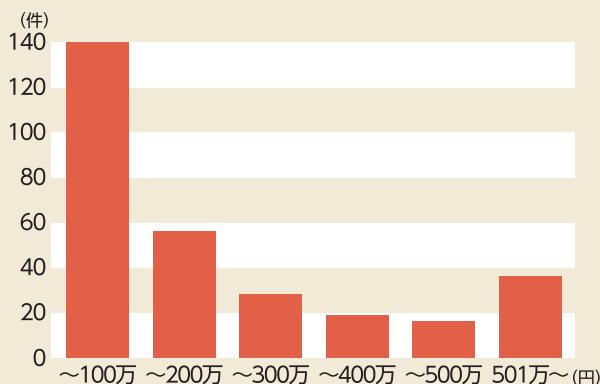
収入保険

どのくらい保険金を支払っているの？

千葉県内の保険金支払状況

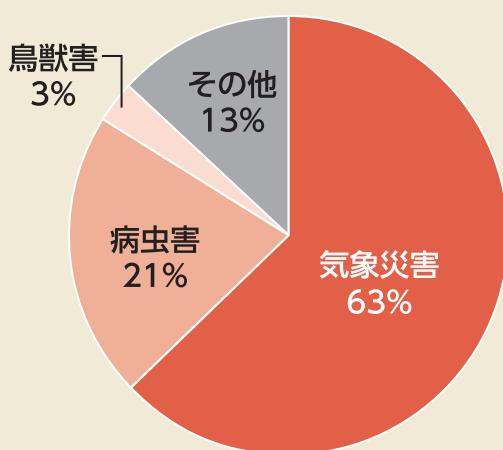
年度	件数	支払金額	支払理由等
R1	37	1億738万円	気象災害（台風15号）ほか
R2	59	4億4,237万円	コロナ・気象災害 ほか
R3	200	10億4,653万円	コロナ・気象災害 ほか
R4	350	8億4,265万円	価格低下・コロナ・気象災害 ほか
R5	295	8億3,279万円	気象災害（高温）・病虫害 ほか

令和5年 県内の受取保険金実績



保険金の受取理由は？

令和5年 事故別保険金受取割合



気象災害による収入減少が最も多く、病虫害や鳥獣害、その他病気やケガなどによる収穫量の減収などの理由がありました。

※1件の受取につき複数の理由がある場合があります。



令和8年契約の加入申請受付中

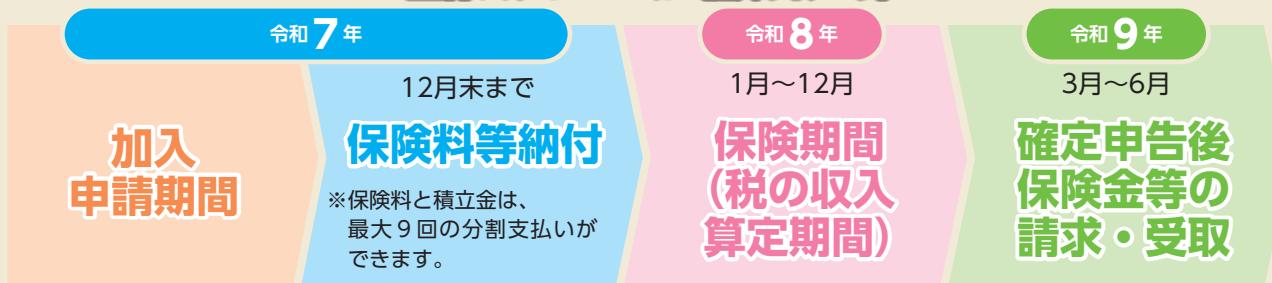
ご加入は今です！

令和7年分以前から青色申告を行っている方は

令和8年契約（令和8年1月1日より補償開始）の収入保険にご加入いただけます。

加入申請期限は12月末までです（法人の方は事業年度の開始前まで）。

全体スケジュール（個人のイメージ）



低リスクの新規加入者は負担軽減の措置があります

令和8年契約の新規加入者は、青色申告実績が5年（令和8年契約の場合、令和3年から5年間）あり、次のいずれかに該当する場合、保険料が14%割り引かれます。

①直近4年間の各年の実績収入が常に前年実績収入を上回ること

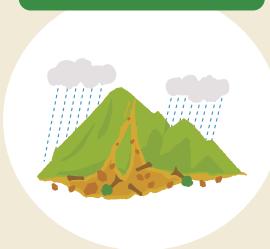
②直近5年間の各年の実績収入が、直近5年間の実績収入の平均9割を下回らないこと

農業者の経営努力では避けられない様々なリスクに対応します

市場価格の低下



自然災害などで減収



災害で作付けできない



倉庫の浸水被害



取引先の倒産



盗難や運搬中の事故



為替の変動で収入減



ケガや病気で収穫できない



1年間を通しての補償で多くの災害からあなたの農業用ハウスを守ります!

園芸施設共済はずっと安心の1年間を通しての補償です。

補償の対象の
災害



収入保険とのセット加入が
おすすめです!

園芸施設共済

ハウス本体の補償

施設内農作物に加入している場合は、収入保険に加入する際に施設内農作物の補償を外す必要があります。



収入保険

施設内農作物の補償

自然災害をはじめ、園芸施設共済では対象にならない販売価格の低下など様々なリスクを補償します。



選べる特約で補償内容を
カスタマイズ!

特約の組み合わせで、
あなたに合った補償を選べます!

掛金を抑えたい!

小損害不填補特約

小さな損害を支払い対象から除くことで
掛金を安く抑えることが可能です。

補償を手厚くしたい!

付保割合追加特約・復旧費用特約

経過年数にかかわらず、**最大で「ハウス新築時」の価値まで**補償が可能です。

片付け費用が欲しい!

撤去費用特約

ハウスが全壊するような被害が発生した場合、撤去にかかった費用を補償。
再建しない場合もお支払いします。

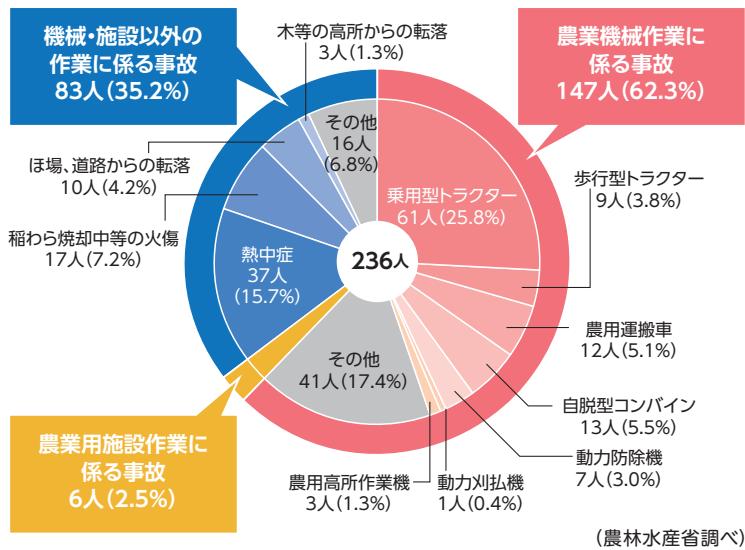
農機具共済

あなたの大切な財産を守ります

農林水産省の調査によると、令和5年に発生した農作業死亡事故者数は全国で236人。その中でも機械事故が高い割合を占めており、機種別では「乗用型トラクター」による事故が最多でした。次いで、近年、熱中症も多く発生しています。

農作業事故を未然に防ぐために、操作時の安全確認や予防対策をしましょう！

要因別の死亡事故発生状況（令和5年）



（農林水産省調べ）

NOSAIでは、新品で購入された農機具1台ごとに、新調達価額を限度として1,000万円まで農機具共済で加入することができます。

共済事故の種類

火災等の事故



稼働中の事故



自然災害の事故



機種名	補償金額	共済掛金	共済掛金 (地震等担保特約付)
乾燥機・精米機他	100万円	4,747円	5,997円
田植機・コンバイン他	100万円	14,229円	15,479円
乗用トラクター他	100万円	32,333円	33,583円

感動したイチゴを自らの手で

「こだわり栽培のイチゴを食べてほしい」と話すのは、大網白里市で「ちあきのいちご園」を経営する相田隆志さん（41）。就農前、都内で会社員をしていたころ、イチゴが大好物という奥さんと一緒にイチゴ狩りに行つた農園で食べた味と人柄に感銘を受け「自分も美味しいイチゴを作りたい！食べて貰いたい！」という思いから就農を決意しました。

イチゴを食べるのは大好きだけど栽培の知識なんでもちろん無く農業とは無縁だった相田さんだが、栽培方法を教えて下さる師匠の元で学び7年前に独立して農園を始めました。現在では施設ハウス88戸で「真紅の美鈴（黒イチゴ）」「とちおとめ」「紅ほっぺ」「おいCベリ」「かおりの」など15品種のイチゴを栽培

しています。多品種の栽培に取り組みながらも「同じ品種のイチゴでも栽培方法や使用する肥料また水をあげるタイミングが異なると別物になってしまって圃場の管理にはかなり気を遣っている」と語る相田さん。

イチゴ狩りの施設では高設栽培を行つていて様々な味や色や大きさの違うイチゴが楽しめ、ベビーカーや車椅子の方も来園できるバリアフリーになつています。また、直売所では店主の強いこだわりの土耕栽培によつて育てられた完熟いちごを販売しています。

1年前に直売所に併設してオープンした「CAFE ASTER（カフェ アスター）」では、イチゴを使用した「レモンスカッシュ、アイスティー、ミルク」などのドリンクや凍らせたイチゴで作る「削りイチゴ」などの販

ちあきのいちご園 相田 隆志さん・千晶さん



▲表彰式での家族写真



▲直売所店内の様子



▲キッチンカーで削りいちごを販売している様子

栽培場所 大網白里市南横川3490

電話番号 0475-77-8715

HP <http://chiakino15.xyz>

●イチゴ狩り

営業期間 1月中旬から5月中旬

営業日時 土曜日・日曜日9:30から14:00

※完熟イチゴの具合によりお休みすることも

あります。

●直売所

営業期間 12月上旬から5月中旬

営業日時 平日10:00～

土日祝9:30～

※無くなり次第終了。

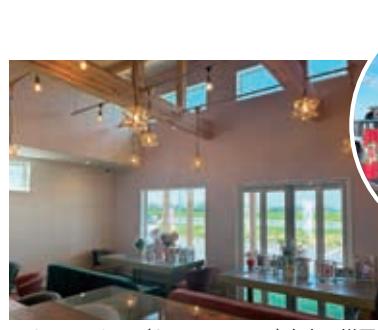
●カフェ

不定休

※営業日はInstagramにて
ご確認ください。



売をしています。
「イチゴ狩りだけ
でなく気軽に寄れる
カフェでドリンク
を飲みながら
ゆっくり出来る空
間があるので、近く
にお越しの際は
寄つていただけれ
ば」と笑顔で話
してくれました。



▲直売所・
CAFE ASTER(カフェ アスター)店舗写真

搾乳ロボットで省力化・飼養管理の効率化



▲平山千斗（かずと）さん



▲新設された赤坂分場 牛の入れ替えスロープ、治療等の牛を退避するスペースなど牛のことを考えた設計。

ロータリーパーラーを導入する選択肢もありましたが、地盤の良くない土地には不向きで、土地に見合うもので、かつ将来的に規模拡大をしていくには搾乳ロボットの方が有利だったそうです。

ロータリーパーラーを導入するよう取り組んでいます。

「作業効率が良くなつたので業務内容の組み立てや機械に合う後継の牛を育てていくことが必要」と千斗さん。牛が過ごしやすい環境づくりはもちろんだが、従業員が働きやすい環境も作つていきたいです。頭数の目標は決めていないが、可能な限り飼養頭数を増やし、規模拡大していくないと笑顔で話してくれました。

「酪農家が年々減少しているからこそ、規模拡大していくことで日本の酪農を守つていきたい」と話すのは、取締役の平山千斗さん（32）。代表取締役の父、晃さんと姉の彩華さん、従業員29名で成牛1,150頭を飼育しています。2001年に法人化した本牧場では、酪農業務全般（搾乳、繁殖管理、堆肥管理等）・仔牛の哺育を行つており、2022年に赤坂分場を新設し、搾乳ロボットを導入するなど、作業効率の向上を図っています。

就農して6年目の千斗さん。搾乳ロボットの導入は従業員にも牛にとつても良い面が多い。導入した搾乳ロボットは8台。24時間稼働しており、牛が自らロボット内に移動し、餌を食べている間に搾乳が行われます。「パ

ラー搾乳と比較して、ロボット搾乳は必要人員が半分程度で済む」と千斗さん。搾乳作業に要していた人や時間を他の作業に振り分けることができるのが最大のメリットです。

搾乳ロボットは、搾乳手順や力加減、リズムが一定になります。人の接觸頻度も少なくなるため牛のストレスが軽減され、乳量が増加するとのことです。また、個体管理ソフトを利用し、牛個体の健康状態、繁殖状況、乳量等を1頭ずつ把握し、それらの個体データを集積。

群全体の生産状況を把握し、農場の生産効率を最大にするよう取り組んでいます。

ロボットに合う牛を選ばなければならないので、牛を揃えていくことが大変だそうです。他にも自身の農場があるため、牛の入れ替えを行い柔軟に対応しています。また、搾乳ロボットは、精密機器なため急なトラブルや修理への対応が柔軟な業者を選んだとも話します。

有限会社 平山牧場（銚子市猿田町1064）
本場：銚子市猿田町1037
TEL 0479-33-4560
赤坂分場：旭市三川14421
三川農場：旭市三川14817-2
さくら哺育農場：銚子市猿田町1293



▲搾乳ロボットと搾乳を待つ牛



▲設定した時間に自動で稼働するエサ寄せロボット

有限会社 平山牧場
平山 千斗さん

みんなが笑顔になれる無人野菜直売所 「もっこり農園」

「みんなを笑顔や元気にしたい」と話す多古町飯 笹地区の菅澤多加男さん（44）。妻と両親の家族4人で畑3haを作付けしています。主な作物はサツマイモやジャガイモ、ニンジンの他、40種類程の野菜を栽培しています。出荷先は主にJAですが、自宅前に設置した無人直売所で採れたての新鮮な野菜を販売しています。また、障がい児童を対象に食育の一環でサツマイモの植え付けから収穫までの体験の場を提供しています。

「もっこり農園」とは
多加男さんが園長を務める直売所「もっこり農園」には、近隣の人だけでなく海外からの観光客も訪れるそうです。ユニークな名前の由来には、心温まるエピソードが隠されています。

千葉県でも大きな被害を受けた東日本大震災で、福島の原発事故による被災者の一次避難先となっていた多古町。ある日、避難してきた年配の方から「あんちゃん、もっこりしてつか?」と声を掛けられた際、もっこりとい

う意味には「もうひと踏ん張り」といった意味がある方言だと教えられたそうです。同じ時期に家族の重い病気や息子の障がいで苦悩していた多加男さんでしたが、その言葉に励まされたそうでした。多加男さんで直売所の名前をもっこり農園と名付けました。

もっこりという言葉に影響を受けた多加男さん。何でもおもしろく、



▲もっこり園長の菅澤多加男さん。



▲家族4人での作業の様子。



▲直売所には新鮮な野菜が並ぶほか、来た人を楽しませるさまざまな仕掛けが施されている。「物価高騰を受けスーパーなどで買えない人のため、救いでなければいけない。いろんな思いに寄り添うように」とのことから価格は設定されている。

もっこり農園 住所：香取郡多古町飯 笹 797

暗くならないよう
にしているそう
で、良いも悪いも
必要な時間だった
という。「笑売繁
盛。笑顔が繋が
る、おもしろがつ
てくれる直売所に
したい」と話して
くれました。



▲直売所へ続く畑の中のもっこりロード

もっこり農園

菅澤 多加男さん

家畜診療所

問)

- ①高圧洗浄機などで汚れを除去
- ②しつかり乾燥させる
- ③コンクリートを施工（乾燥期間…約1週間）

今年の夏、乾乳期の牛が重なったことで、牛床を7～10床ほど空けることができたため、飼槽の修繕に着手しました。作業工程は以下の通りです…

この農家では、飼槽のコンクリートが剥がれ、内部の砂利が露出。残飼が隙間に溜まりやすくなつて掃除が大変になつていました。さらに、掃除しきれなかつた残飼が腐敗し、牛の食欲低下を招いていたそうです。

あらゆるもののが価格が高騰する中、大きな設備投資が難しくなり、牛舎の老朽化が目立つてきています。そんな中、多くの農家さんはDIYによる工夫で環境改善に取り組んでいます。今回は、飼槽の修繕によつて採食量を確保し、作業効率も向上させた佐藤裕明さん（鴨川市）の事例をご紹介します。



飼槽のコーティングで、きれいな食べやすい環境を

- ④コンクリートの浮き層をサンダーで除去
- ⑤ウレタン樹脂によるコーティング塗装
× 4回

- ⑥最終塗装から2時間乾燥して完了

牛舎を5区画に分け、順番に作業を進めたとのことです。

全工程を約2カ月で行い、総費用は約20万円（コーティング剤+資材15万円）

塗装後は、牛たちの食べやすさが向上したようで、残飼の量が減少。掃除の手間も大幅に短縮しました。

畜主さんは「稼いでくれる牛たちのために、何ができるか、どうすれば快適に過ごせるかを日々考えている。とはいって、お金はたくさんかけられないから、工夫して、自分でできることは自分でやつています。」と話していました。

獣医的な話ではありませんが、水槽の掃除や飼槽、牛床の管理でカウコンフォートを上げて、生産性を高めていきましょう。





はたらく女性

できる範囲で楽しく農業

千葉市若葉区下泉町で、7アールの畑を耕作する猪野泰子さん（54）。主に栽培しているのはピーマンとつるむらさきです。野菜の他にひまわりも栽培し、花束を出荷しています。また、自家用野菜でズッキーニや白ナスの他3種類の野菜を栽培しています。

農家育ちの猪野さんですが、子育てが一段落したのを機に両親の手伝いから農業を始め、独立したのは12年ほど前。以来、自分の畑を購入し、春夏野菜を中心に耕作・出荷する経営を家族の協力を得ながらひとりで行っています。

収穫した野菜と花はJA千葉みらいの農産物直売所「しょいか～ご」で販売しています。

「自分の名前を見て買ってくれるお客様がいるので、きれいに袋詰めして品質の良いものを選び出荷しています」と話す猪野さん。朝早い時間に収穫し、朝採れのシールを貼って新鮮さをアピールしています。

昨年つるむらさきの収穫量がネキリムシの影響で減ってしまったため、今年は対策として防除を行い、適期に追肥をすることに気を付けているよう「酷暑のなかで作業をこなすのは大変ですが、野菜が暑さに負けないよう対策することが大事だと感じました」と話す猪野さん。水やりもまめに行っており、会社員の夫も休日や帰りが早い日に水やりを手伝ってくれるそうです。

春夏の収穫作業が終わると、秋冬は畑の管理をしながら両親が耕作する秋大根・春大根の収穫と出荷作業の手伝いをしています。大根は千葉市園芸協会の直売所でも販売していて「うちの大根を買ってくれるお客様がいるのでやめられないです」と猪野さん。

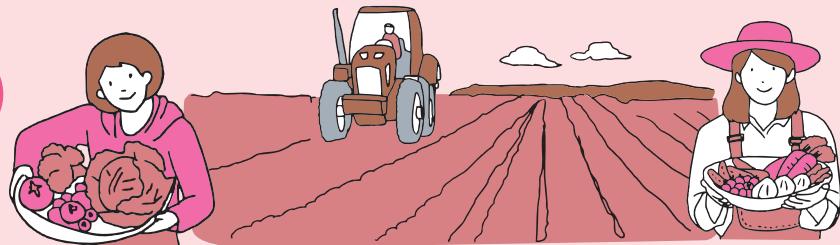
ひとりでできる範囲で、無駄を出さずに収穫した野菜や花はお客様が喜んで購入してくれるところにやりがいや、楽しみを見つけた猪野さんは「農作業をする時と遊ぶ時とのメリハリをつけることを心がけています。頑張った分、自分の趣味の旅行が楽しめると考えて大変な作業もこなしています」と笑顔で話してくれました。



一人での作業は大変ですと話す猪野さん



ピーマンの様子を確認する猪野さん



「笑顔を育てる」— 若手農業者の挑戦

君津市でカラー10ha、水稻115ha、野菜25ha^{1けだちえみ}を耕作している池田智恵美さん(26)。元々は保育士として働いていましたが、転職を考えていた時期に祖母から教わった農業の楽しさに惹かれ、就農を決意しました。

農業を始めた当初、旦那さんは「農業で生計を立てるのは大変ではないか」と心配していたそうですが、智恵美さんが育てた野菜を嬉しそうに手に取るお客様の姿や、周囲からの温かいサポートに触れるなかで、その印象は大きく変わっていきました。今では農業を続けていくことに、前向きな気持ちを共有できているそうです。

現在は、近隣の直売所のほか、保育士時代に出会った保護者さんが営む木更津市内のカフェ『Heart Land Kitchen』に卸したり、月に一度そのカフェで直売会を開いたり、販売の場を着実に広げています。「自分が育てたミニトマトを子どもが一粒食べたら『美味しい!』とその場で全部食べてくれたときが嬉しかった。」と笑顔の智恵美さん。お客様の笑顔が原動力になっているといいます。病害虫の被害や栽培の失敗も少なくありませんが、その度に工夫を重ね、持ち前の粘り強さで次に生かしてきました。



収穫したナスを手に持ち笑顔の智恵美さん

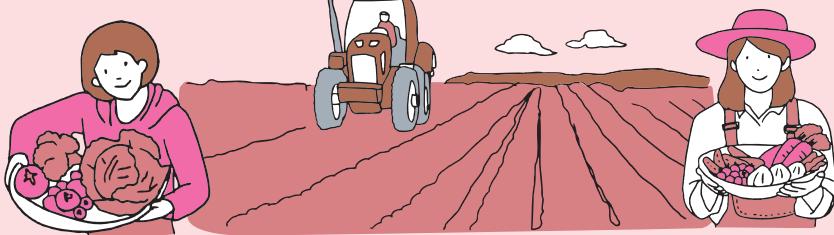


ナスの収穫作業をする智恵美さん



収穫したナスをHeart Land Kitchenへ

今後は、子どもたちを対象にした収穫体験や正月飾りづくりなどの体験農園を開催し、地域の皆さんに農業をより身近に感じてもらえる活動を計画しています。また、フードロスの削減を目指し、規格外野菜を活用した惣菜や加工品づくりに挑戦していきたいと笑顔で話してくれました。



Iターンで新たな農業のキャリアを築く

コロナ渦をきっかけに、ご主人と愛猫とのんびり暮らすため4年前に長生村に移住してきた熊谷静さん（48）。移住後に仕事のすきま時間で始めたネギを収穫するパートの楽しさと奥深さにやりがいを感じ、農業経営を通じて地域に密着したいと思い立ち今年新規就農しました。

現在は秋冬ネギを20㌃耕作しています。今後は借入面積や人員を増やしてネギで1㌶、サツマイモ、ジャガイモ、ナス、タマネギ、ニンニク等の野菜も取り組む計画です。

就農するにあたり、農機具の購入や休耕畠の整備など女性一人では難しいことが多かったです。協力的なご主人の補助もあり二人三脚で準備を進め定植まで漕ぎつけました。

専門的な困りごとが起きたときも、農業独立支援センターや以前のパート先の農家さん、新規就農のモデルケースとなっている先輩女性農家さん等から適切なアドバイスを頂くことができるため、安心してネギ作りに注力することができています。

軌道に乗せ幅広い経営プランを展開したいと熊谷さん。ビタミン不足に困っている人々が毎日新鮮な旬の野菜を食べられるように、出身地でもある江戸川区に直売所を開いて、忙しい共働き夫婦へ向けてカット野菜の詰め合わせ等を販売する計画を進めています。規格外野菜はネギみそや薬味に加工しフードロス削減にも意識的に取り組む予定です。

また、芋ほり体験会を開催してサツマイモやジャガイモの収穫を通じて首都圏の人にも野菜作りの楽しさを伝えたいと考えています。

「新規就農希望の女性の目標になれるように頑張りたいと思います。」と語ってくれました。



新品の農機具は農機具共済に加入しました。



除草が大変ですが今後はネギ以外にも挑戦します。



安全運転を心がけています。



今後、Instagramで活動状況等の定期的なお知らせが 있습니다。

試し読みキャンペーン実施中

農業共済新聞を
読めば分かるシリーズ

- 1 農業・営農の今が分かる
- 2 農政の動きが分かる
- 3 農業共済・収入保険の仕組みが分かる
- 4 所得確保や経営改善の手がかりが分かる
- 5 暮らしを豊かにするヒントが分かる



2ヵ月間
無料

毎週おとどけ



申し込みはNOSAIへ

人気コーナー

農家や研究者の
コラム「ズバリ直言」



農業女子が思いを
寄せる「晴れ間」



役立つ
営農技術情報



充実の地方版



● ● ● ● ●
営農と暮らしに役立つ情報を
毎週ご覧いただけます!

農業共済新聞



一面

先進的な農業経営や地域振興の事例など、生産現場の旬の話題をピックアップ。農政問題や著名人のインタビューなども掲載します。

総合面

1週間分の農政の動きをまとめて確認できます。また、生産現場の視点で問題提起をしてわかりやすく解説します。

農業保険／収入保険面

第1週は収入保険を、第3週は農業保険を、第4週は各地で活躍するNOSAI部長を紹介します。獣医師によるコラムも好評です。

すまいる面

暮らしの道具や本の紹介や動物の話など、家族で楽しめる企画満載です。

営農技術・資材面

低コスト化や災害回避、安定収入への取り組みなど、明日から使える技あり情報を紹介します。

地方面「関東版」

第1・2・3週号は、関東各都県より身近な話題を発信します。

新規就農者や、農業技術・経営及び暮らしに役立つ情報など、地元農家や地域密着の取り組みを紹介します。

関東各都県で連携した特集記事も見どころです。



購読料 年間 5,520円
(送料込み)



今週のヘッドラインを
ご覧いただけます。

~今回の表紙~

富津市で原木しいたけを3,000本栽培している加藤義邦さんと弥生さんご夫妻は、しいたけ栽培60年の大ベテランです。「加藤さんが作るしいたけが食べたい！」とお客様から好評の乾燥しいたけは、農林水産大臣賞を受賞するほど絶品です。

しいたけは軸にも旨味があり、焼いて食べても、出汁に使っても美味しいと教えてくれました。直売所で販売しているので、食欲の秋に、しいたけ料理はいかがでしょうか。

かとう よしくに
加藤 義邦さん(77)

やよい
弥生さん(71)



大切なお知らせ

口座振替の登録をお願いします

組合員の皆さんから共済掛金等を安全に納入いただくため、農林水産省と県の指導により、職員訪問による現金集金を原則廃止とされています。

何卒ご理解いただき、口座振替での納入のご協力をお願いいたします。

万が一、振替ができなかった場合等は、組合から送付する払込票にてコンビニエンスストアから納入ください。

組合員ご本人が、NOSAI事務所にお越しのうえ納入いただく場合は、現金納入も取り扱います。

詳しくは、
最寄りのNOSAIまで
お問い合わせください。



本所	〒260-0031 千葉市中央区新千葉3-2-6 TEL / 043-245-7449	山武支所	〒289-1326 山武市成東735-1 TEL / 0475-82-2332
けいよう支所	〒290-0207 市原市海士有木236 TEL / 0436-36-1161	海匝支所	〒289-2613 旭市後草1117 TEL / 0479-55-2083
ぼうそう支所	〒292-0014 木更津市高柳1003 TEL / 0438-23-0371	香取支所	〒287-0042 香取市山之辺1-1 TEL / 0478-58-5611
安房支所	〒294-0005 館山市安東73-2 TEL / 0470-22-9011	北総支所	〒285-0911 印旛郡酒々井町尾上125-2 TEL / 043-481-6911
わかしお支所	〒299-4413 長生郡睦沢町上之郷2192-1 TEL / 0475-36-2701		

